



なとりの王が教える

名取の古墳

令和2(2020)年5月31日～9月6日開催

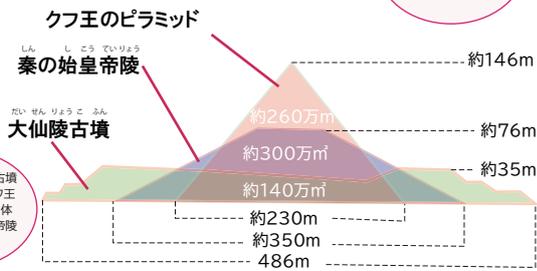
大きなお墓づくりの時代

いまから千数百年前という遠い昔に、およそ400年にわたって大きなお墓を造る時代がありました。この大きなお墓を古墳とよび、この時代を古墳時代とよんでいます。

前の時代(弥生時代)から西日本などの各地に支配者の墓が現れますが、さらに古墳時代になるといまの奈良県を中心に強力な大和政権(大王)の王墓として巨大な前方後円墳が造られ、その勢力が広がるにつれて各地にもつぎつぎと造られていきました。雷神山古墳もこうした流れの中で造られた東北地方では最大の古墳です。

この企画展では、この時代に流行した古墳づくりと生活のうつり変わりから見た名取の古墳の特色について、そのあらましを紹介します。

有力者が大きなお墓を造り、その力を内外に示すという行為は、世界各地に見られます。



世界の三大お墓

古墳の見方

古墳時代は大きく前期、中期、後期、終末期に区別され、古墳の造り方や生活のための技術など、変化が見られます。

身近にある古墳 全国の古墳の数は16万基(古墳は1基、2基と数えます)近くあり、これは全国のコンビニ数の約3倍の数です。名取には70基ほどの古墳があります。

古墳の形 前方後円墳、前方後方墳、帆立貝式古墳、円墳、方墳など、いろいろな形があります。

古墳の大きさ 形の中で大きさランキングの上位を占めるのが前方後円墳です。中でも2019年夏に世界遺産となった『百舌鳥・古市古墳群』の大仙陵古墳(仁徳天皇陵と伝えられる)や誉田御廟山古墳(応神天皇陵と伝えられる)は長さが400m以上ある巨大な前方後円墳です。でも古墳の中で最も数が多いのは直径が10~20mの円墳などのミニ古墳です。

雷神山古墳は前方後円墳という形や大きさから、大和政権と密接な関係があったことがうかがえます。

名取にもさまざまな形や大きさの古墳があります。いろいろな階層の有力者がいたことがわかります。

こうした古墳の形や大きさは大和政権との関係の度合、身分や地位、力を示すものと考えられています。

古墳のまわり 大きい古墳の多くは土がくずれないように葺石がしきつめられ、お墓を飾るために埴輪が並べて置かれました。

埋葬される部屋と副葬品 はじめは長い木棺などをおさめるたて穴式石室に鏡や玉、剣などの祭りの道具が、のちには石棺などをおさめる横穴式石室に武器や馬具、日常生活の道具などが副葬されました。

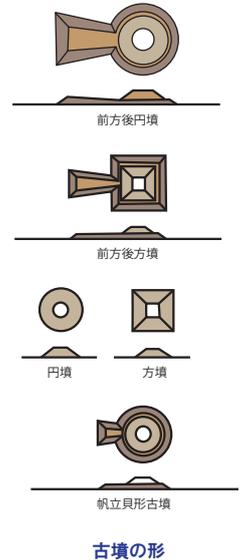


雷神山古墳は全国で52番目の大きさです。
(前期では東日本最大級となります。)

名取は東北地方では大型古墳の密集地の一つ

古墳の名前	所在地	古墳の形	古墳の大きさ(長さ)	時期
1 雷神山古墳	宮城県名取市	前方後円墳	168m	前期
2 亀ヶ森古墳	福島県会津坂下町	前方後円墳	130m	前期
3 会津大塚山古墳	福島県会津若松市	前方後円墳	114m	前期
4 玉山古墳	福島県いわき市	前方後円墳	112m	前期
5 遠見塚古墳	宮城県仙台市	前方後円墳	110m	前期
6 青塚古墳	宮城県大崎市	前方後円墳	100m前後	前期
7 稲荷森古墳	山形県南陽市	前方後円墳	96m	前期
8 愛宕山古墳	宮城県村田町	前方後円墳	90m	前期
8 名取大塚山古墳	宮城県名取市	前方後円墳	90m	中期
8 舟森山古墳	福島県喜多方市	前方後円墳	90m	前期
11 千塚山古墳	宮城県村田町	前方後円墳	85m	前期
12 大安場古墳	福島県郡山市	前方後方墳	84m	前期
12 堂ヶ作山古墳	福島県会津若松市	前方後円墳	84m	前期

古墳の名前	所在地	古墳の形	古墳の大きさ(長さ)	時期
1 雷神山古墳	名取市	前方後円墳	168m	前期
2 遠見塚古墳	仙台市	前方後円墳	110m	前期
3 青塚古墳	大崎市	前方後円墳	100m前後	前期
4 名取大塚山古墳	名取市	前方後円墳	90m	中期
4 愛宕山古墳	村田町	前方後円墳	90m	前期
6 千塚山古墳	村田町	前方後円墳	85m	前期
7 兜塚古墳	仙台市	帆立貝式古墳	75m前後	中期
8 吉ノ内古墳	角田市	前方後円墳	70m	中期
9 京銭塚古墳	美里町	前方後方墳	66m	中期
10 薬師堂古墳	名取市	前方後方墳	65m	前期
10 観音塚古墳	名取市	前方後方墳	65m	前期
10 山居古墳	名取市	前方後方墳	65m	前期
13 方領権現古墳	村田町	前方後円墳	64m	中期
14 熊野神社古墳	色麻町	前方後円墳	63m	前期
15 奥山古墳	大和町	前方後円墳	60m	中期
15 宮山古墳	名取市	前方後方墳	60m	前期
15 長泉寺裏山古墳	角田市	前方後円墳	60m	前期



古墳の形

古墳時代のうつり変わり(1)

前期(およそ3~4世紀)	
社会	畿内の奈良盆地を中心に大和政権が生まれる。
古墳	前方後円墳や前方後方墳、円墳、方墳などが九州、東北地方までつくられる。たて穴式石室、木棺などに埋葬。埋葬者は司祭者、各地の豪族など。副葬品は鏡、玉、剣などの祭りの道具が特徴。まわりに埴輪をめぐらす。東北地方中・南部では大型古墳はおもにこの時期に造られる。
住まい	住まいは方形の竪穴住居、掘立柱建物。炉で煮炊き。豪族は居館。
道具	土師器、鉄製の農具(鎌など)、木製の農具(鋤や鋤など)。
その他	東海地方や畿内などとの交流を示す出土品が多くみられる。
名取は	有力者の墓である方形周溝墓が造られた後に、飯野坂古墳群(前方後方墳など)、雷神山古墳(前方後円墳)の大型古墳が出現する。名取は会津地方などと並び、大家族が支配していた。十三塚遺跡や野田山遺跡など各地にムラが作られた。



雷神山古墳



十三塚遺跡のたて穴住居あと

古墳時代のうつり変わり(2)

後期(およそ6世紀)	
社会	朝鮮半島から仏教や儒教が伝わる。
古墳	小さな円墳が密集してつくられる。何度も埋葬できる横穴式石室。埋葬者はより下の階層も、家族の墓。副葬品は馬具や刀、土器など。まわりに埴輪をめぐらす古墳も。東北地方では後に国造が配置される地域を中心に古墳が造られる。
住まい	住まいは方形の竪穴住居、掘立柱建物、カマドで煮炊き。豪族は居館。
道具	土師器(坏は須恵器の形をまね、東北地方では中を黒色にする技法が登場)、須恵器、鉄製の農具、木製の農具。
その他	前方後円墳づくりが終わる。
名取は	甕ノ窪古墳群では小さな古墳づくりが続く。ムラのあとは少ない。



甕ノ窪古墳群 5号墳



甕ノ窪古墳群 11号墳



中を黒色にした土師器

中期(およそ5世紀)

社会	朝鮮半島から渡来人が移り住み、須恵器や鍛冶などの新しい技術を伝える。
古墳	畿内では大阪を中心に巨大な古墳がつくられる。たて穴式石室、石棺などに埋葬。埋葬者は武人、各地の豪族など。副葬品は武器やよろい、馬具などの戦いの道具が特徴。まわりに埴輪をめぐらす。東北地方では前半は古墳は少なく、後半には埴輪を持つ古墳が造られる。
住まい	住まいは方形の竪穴住居、掘立柱建物、カマドで煮炊き。豪族は居館。
道具	土師器、須恵器(窯)、鉄製の農具(鍛冶)、木製の農具。
その他	馬の利用始まる。
名取は	海岸部では経ノ塚古墳や下増田飯塚古墳群、毘沙門堂古墳(円墳)が、山ぞいでは大型の名取大塚山古墳(前方後円墳)などが造られる。十三塚遺跡など各地にムラが作られた。前野田東遺跡では鍛冶も行われている。



名取大塚山古墳



前野田東遺跡のたて穴住居あと



左の住居あとのカマド

終末期(およそ7世紀)

社会	飛鳥時代とほぼ重なる時期。豪族の力を排除し、天皇中心の法律にもとづく新しい支配の仕組み(律令政治)が整えられた時代。
古墳	古墳は少なくなり、山の斜面に横穴墓がつくられる(その利用は奈良時代まで続く)。埋葬者は有力者、役人など、家族の墓。副葬品は刀や土器、仏教用具、玉類など。
住まい	住まいは方形の竪穴住居、掘立柱建物、カマドで煮炊き。堀田の屋敷。
道具	土師器、須恵器、鉄製の農具、木製の農具。
その他	仏教が広まり、各地にお寺が建てられる。
名取は	古墳は山岡古墳や甕ノ窪27号墳(円墳)に限られ、その後は熊野堂横穴墓群のような横穴墓が流行する。関東地方からの移民が増え(関東地方系の土師器)、この時期の後半には律令国家の支配の中に組みこまれる。



甕ノ窪 27号墳



熊野堂横穴墓群



熊野堂横穴墓の基壇



関東地方系の土師器

なと王が語る 名取の古墳の特色

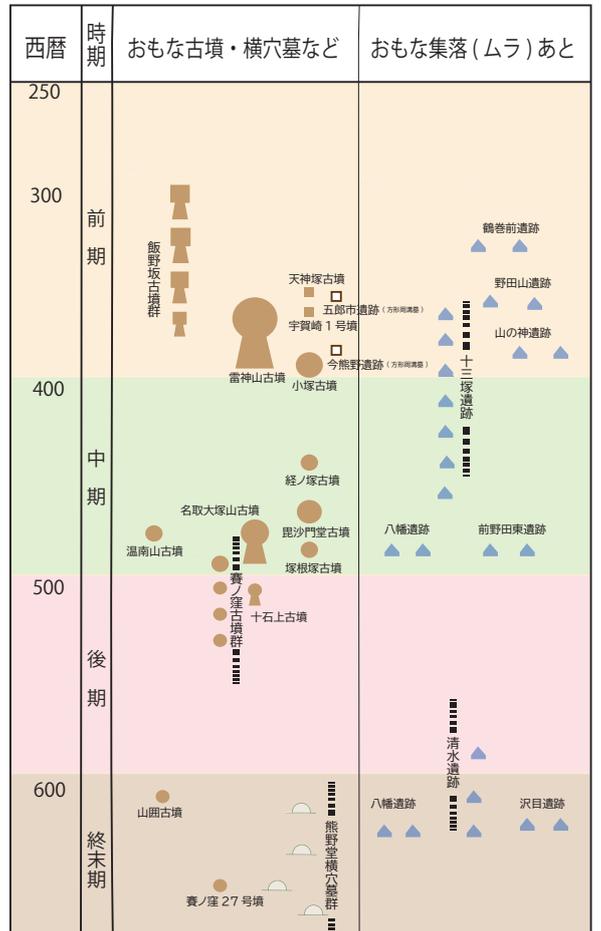
① 名取では古墳時代が始まり稲作が盛んになると、人々を支配する有力者が現れ、小さな方形周溝墓や方墳からしだいに大きな前方後方墳、さらに巨大な前方後円墳が造れるような大豪族へと変わります。その雷神山古墳は前期では東日本でも最大級の大きさを誇る前方後円墳です。

その背景には古墳時代になると各地にムラがつくれ、新しい技術や文化のもとに生産力が高まったことがあります。名取の大豪族は畿内の大和政権との密接な関係をもとに、仙台平野を基盤としてその勢力をまわりまで広げていったものと考えられます。

② 中期になるとその力は一時衰えますが、後半には雷神山古墳の再来とも言えるような中期では東北地方最大の名取大塚山古墳が造られます。この古墳をささえたムラは名取やその周辺各地に広がり、そこでは須恵器や埴輪、鍛冶生産も行われています。

③ 後期には古墳は少なくなります。終末期になると頭椎大刀が見つかった山岡古墳が注目されます。飛鳥時代に名取に装飾大刀を授かるような重要な人物がいたことがわかります。

終末期の飛鳥時代後半を中心に各地に横穴墓がつくられます。とくに名取川沿いの山の斜面には群集してつくられており、この頃に仙台市郡山遺跡にあった陸奥国の役所などにかかわった役人や有力者の墓ではないかと考えられています。



● 前方後円墳 ■ 前方後方墳 ● 円墳 ■ 方墳 ◡ 横穴墓 □ 方形周溝墓 ▲ 建物あと

名取のおもな古墳と集落(ムラ)